平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ) 【竹田ゼミ】			授業コード	E002614
担当教員名	竹田　隆行			科目ナンバリングコード	E31203
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	4		
履修上の注意または履修条件	スポーツマネジメントの基本を学びます。常に問題意識を持って取り組んで欲しい。自分の強みを見つけ伸ばしてもらたい。振り返るな、前を向いて進め！　この気持ちを忘れないで欲しい。				
受講心得	ゼミは、発表・討論を通じて学ぶ場です。ゼミ生は、スポーツに関連するビジネス環境を注意深く観察し、自分なりの問題意識を持って毎回のゼミに出席をして下さい。疑問に思ったことは必ず質問して下さい。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥です。				
教科書					
参考文献及び指定図書	ゼミで案内します。				
関連科目	スポーツビジネス・マネジメント概論、スポーツリテラシーⅣ・Ⅵ、スポーツの経営学、地域とスポーツ				

授業の目的	スポーツビジネスの領域は、オリンピックやFIFAワールドカップのようなビッグビジネスから地域レベルのスポーツ事業と非常に幅があります。しかし、基本的なビジネス手法は同じです。ただ、それぞれのスポーツが持つ特有の性質をうまくミックスしていかなければなりません。 我が国のスポーツビジネスは、これからのビジネスです。学問としても新たな領域です。本ゼミでは、ケーススタディを通じて、現象を蓄積していき学問として体系化を図るとともに、ビジネスモデルの構築することを目的とします。
授業の概要	スポーツビジネス(マネジメント)について学びます。ゼミⅡBでは、組織ビジネスの基本であるドラッカーのマネジメントについて学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： ゼミⅢの講義内容について ゼミⅢの講義内容について説明します。スポーツビジネスの現状説明と卒論指導を行います。	復習2h　ゼミでの内容確認
第 2 週 ： 我が国のスポーツビジネスの現状を知る スポーツが新聞等のメディアでどう取り扱われているかを調べて発表する。	復習2h　ゼミでの内容確認
第 3 週 ： 我が国のスポーツビジネスの現状を知る スポーツが新聞等のメディアでどう取り扱われているかを調べて発表する。	復習2h　ゼミでの内容確認
第 4 週 ： 我が国のスポーツビジネスの現状を知る スポーツが新聞等のメディアでどう取り扱われているかを調べて発表する。	復習2h　ゼミでの内容確認
第 5 週 ： 我が国のスポーツビジネスの現状を知る スポーツが新聞等のメディアでどう取り扱われているかを調べて発表する。	復習2h　ゼミでの内容確認
第 6 週 ： 我が国のスポーツビジネスの現状を知る スポーツが新聞等のメディアでどう取り扱われているかを調べて発表する。	復習2h　ゼミでの内容確認
第 7 週 ： 我が国のスポーツビジネスの現状を知る	

スポーツが新聞等のメディアでどう取り扱われているかを調べて発表する。	復習2h　ゼミでの内容確認
第 8 週 ： 我が国のスポーツビジネスの現状を知る スポーツが新聞等のメディアでどう取り扱われているかを調べて発表する。	復習2h　ゼミでの内容確認
第 9 週 ： 我が国のスポーツビジネスの現状を知る スポーツが新聞等のメディアでどう取り扱われているかを調べて発表する。	復習2h　ゼミでの内容確認
第10週： 我が国のスポーツビジネスの現状を知る スポーツが新聞等のメディアでどう取り扱われているかを調べて発表する。	復習2h　ゼミでの内容確認
第11週： 卒論指導1 スポーツマネジメント関連の論文を読みこんで、卒論のテーマを設定します。	復習2h　ゼミでの内容確認
第12週： 卒論指導2 スポーツマネジメント関連の論文を読みこんで、卒論のテーマを設定します。	復習2h　ゼミでの内容確認
第13週： 卒論指導3 スポーツマネジメント関連の論文を読みこんで、卒論のテーマを設定します。	復習2h　ゼミでの内容確認
第14週： 卒論指導4 スポーツマネジメント関連の論文を読みこんで、卒論のテーマを設定します。	復習2h　ゼミでの内容確認
第15週： 卒論指導5 卒論のテーマを決定します。	復習2h　ゼミでの内容確認

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅱ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	スポーツマネジメントに必要な知識や倫理観を身に付けるとともに、目的意識を持って自発的に学習する能力を身につける。
【知識・理解】	スポーツマネジメントの実践的知識を習得し、それらを総合・活用して問題解決を図るリテラシーを身につける。
【技能・表現・コミュニケーション】	チームワークを尊重しつつ主体的に活動することができ、組織の中で結果を出す能力を身につけ
【思考・判断・創造】	変容する社会において、多角的に考察・分析し、スポーツマネジメントの現場で課題解決できるマネジメント能力を活かし、新たな価値創造にチャレンジする能力を身につける。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**10点**	

【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。			**50点**
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			**20点**
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			**20点**

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	講義の中で、適宜質問をします。優れた解答をした者は、記録して加点することがあります。